

## 美術史研究者・写真家 ゴラズド・ヴィルハール様

### に対する在外公館長表彰式の開催

9月28日(木)、大使公邸において、福田大使は、スロベニア国籍の美術史研究者・写真家ゴラズド・ヴィルハール(Mr. Gorazd Vilhar)氏に対して在外公館長表彰式及びレセプションを主催しました。同授与式には、田中英道東北大学名誉教授、ツリベルク(Luka Culiberg)リュブリャナ大学日本語学科助教、関係者の方々の他、ヴィルハール氏のご家族も出席されました。

**ヴィルハール氏**は、1985年より日本に在住し、日本の伝統文化に関する研究を重ね、これまで夫人でもある文化人類学者のシャーロット・アンダーソン氏(Ms. Charlotte Anderson)他とともに日本文化に関する写真集を中心に書籍10冊を公刊しており、また国内外で講演会や展覧会も積極的に実施してきました。スロベニアにおいては、2011年に、「Divine Detail 展覧会」、2013年に、「The Little Book of Japan 出版記念イベント」、また、2017年には、日スロベニア外交関係樹立25周年記念行事の一環として「日本の伝統にみられる精神の中で～祭り～写真展」を実施し、日本文化紹介に大きく貢献されました。

【写真】





